



くすのき浩幸

ひる ゆき

【ごあいさつ】

秋涼の候、皆さまにはますます健勝のこととお慶び申し上げます。湖西市議会9月定例会では、令和6年度決算審査をはじめ、条例改正や補正予算などを審議しました。決算では、実質公債費比率が5.16%から5.96%へ、将来負担比率も2.4%から15.1%へと上昇し、大型投資を控える中で一層の慎重な財政運営が求められています。

今議会では「補助金・委託事業の目的・成果・評価の在り方」をテーマに一般質問を行い、公平性や市民への説明責任について議論を深めました。

1

教育を基本とした
魅力あるまちづくり

2

行財政改革と持続
可能なまちづくり

3

働く仲間の声で
つくるまちづくり

一般質問

湖西市の補助金・委託事業に関する
目的・成果・評価の在り方について

背景

湖西市では、地域福祉・文化・産業など多様な分野で活動する民間団体に対し、補助金や指定管理料による財政的支援、また委託契約に基づく事業実施が行われています。これらは年々多様化しており、総額や配分先も変化していますが、目的と成果の整合性、KPI等の成果指標の設定、評価基準の明確化と透明性の確保は十分ではありません。一部には支援や契約が固定化しているとの懸念もあり、限られた財源の中で優先順位を明確化し、市民への説明責任を果たす必要があります。

私の想い

補助金や委託事業は、市民生活や地域活動を支える重要な仕組みですが、その成果を市民に「見える化」することが欠かせません。各所管課で評価が行われているのであれば、オープンデータとして積極的に公開し、透明性を高めるべきです。また、現行の年1回の評価だけではなく、年度途中のフォローアップが必要であり、DXの推進により事務負担を軽減し、適時的確に進捗を確認できる体制を構築することが、行政と団体の双方にとって有益だと考えています。

【一般質問】

問1

援・委託対象団体の整理について

令和6年度決算時点で、補助金・指定管理料・委託契約の総数と内訳はどうか。

回答

補助金は101件（総額約8.1億円）、うち民間団体53件（約3.4億円）。委託契約は259件（約36.6億円）。うち民間団体54件（約4.4億円）。指定管理は5件（約2.4億円）。分野別では民生費・衛生費14件、教育・文化12件など。

問2

事業成果の把握と評価について

成果指標（KPI）はどのように設定し、実績報告はどの頻度で求めているか。

回答

成果指標は事業の性質に応じ所管課が設定。実績報告は基本的に年1回。委託契約は契約に基づき報告頻度を定めている。

所感

今回の一般質問を通じ、現行制度における評価や管理の仕組みは確認できましたが、市民への説明責任を果たすには十分とは言えません。特に、情報公開は補助金・委託事業の信頼性を高める要であり、オープンデータ化など積極的な公開姿勢が必要です。また、年1回の評価にとどまらず、年度途中でも進捗をフォローする仕組みをDXで実現すべきだと感じました。次回の予算・決算審査では、今回の議論がどのように制度改善につながるかを注視してまいります。



輝く湖西市を目指します
みんなの笑顔が



湖西市議会
YouTube



問3

制度運用の公平性・透明性について

支援や契約を見直す際、団体間の公平性はどのように確保しているか。

回答

事業分野や目的が多様で一律比較は困難。所管課が目的・効果を整理し、対象団体と協議を行なながら進める。

問4

今後の改善に向けた取組について

制度改善に向けた課題意識と対応は。

多様な事業の一括見直しは困難だが、固定化や説明責任の課題を踏まえ、成果の見せ方や情報公開の充実を検討。制度全体を一新するのではなく、段階的に改善を進めていく。

